

Cisco Configuration Professional (CCP) Express 3.5.1 による Cisco 841M J シリーズ初期設定ガイド

—— 初期設定 (WAN/LAN)

—— ダッシュボード解説

—— システム管理機能



目次

————— Cisco Configuration Professional (CCP) Express 3.5.1 のご紹介	p3
————— CCP Express 3.5.1 初期設定ガイド	p4
Cisco Configuration Professional Express (以下、CCP Express) 3.5.1 を利用して、 工場出荷状態の Cisco 841M J ルータの初期設定を行う手順を紹介します。	
CCP Express の GUI へのアクセス	p4
————— WAN/LAN の設定	p8
WAN の設定	p9
LAN の設定	p16
————— ダッシュボード解説	p20
トラフィックの見える化	p20
アプリケーション ファイアウォールの設定	p21
————— システム管理機能	p22
実行中の設定 (running-config) のダウンロード	p22
Cisco IOS のアップデート	p23
————— シスコ サポート コミュニティ	p26

Cisco Configuration Professional (CCP) Express 3.5.1 のご紹介

日本語 GUI で簡単に初期設定や設定の変更が行えます。

【設定項目例】

- WAN インターフェイス
- VLAN
- スタティック ルート
- DHCP 設定 など



対応 Cisco IOS バージョン :

15.5(3)M 以降

対応ブラウザ

Mozilla Firefox 25 以上

Google Chrome 30 以上

Safari 9.1

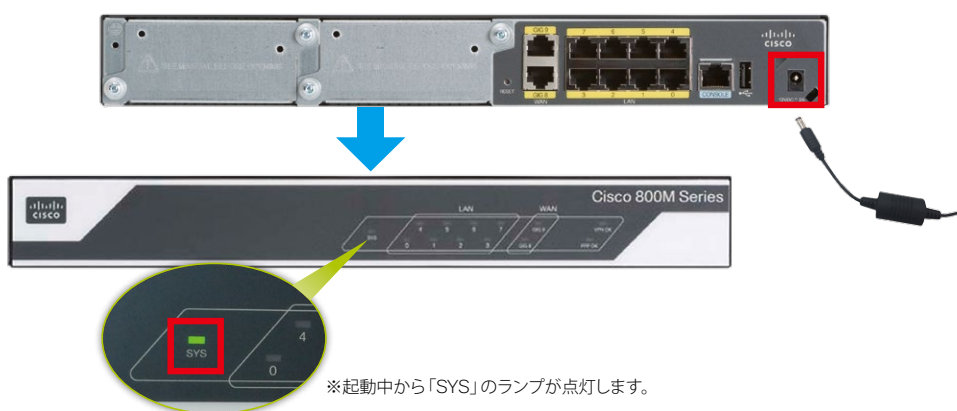
CCP Express 3.5.1 初期設定ガイド

1 CCP Express の GUI へアクセス

ステップ 1 電源を入れます

1

同梱の電源ケーブルを Cisco C841M ルータの電源ポートに接続します。
約 2 分程度でルータが起動します。

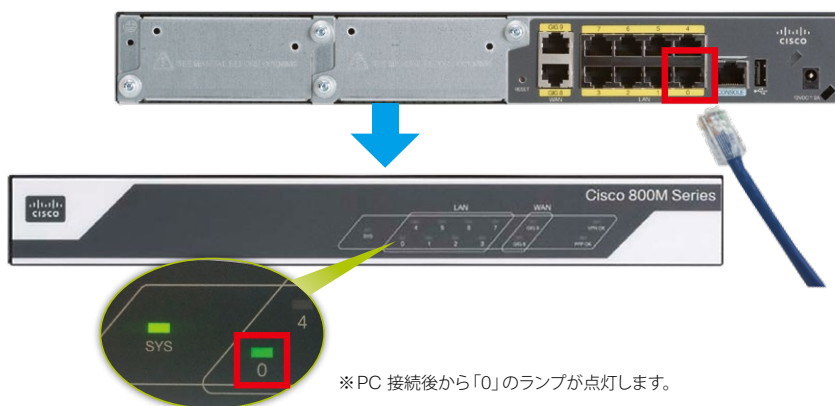


ステップ 2 PC をルータに接続します

2

PC と Cisco C841M ルータの Gig0/0 ポートを LAN ケーブルで接続します。
約 1 分 30 秒程度で PC がアドレスを取得します。

※例として Gig0/0 ポートを利用しています。LAN インターフェイスはどこに接続しても構いません。
※LAN ケーブルは別途ご準備ください。



ステップ
3

新規ユーザを作成します

PC の Web ブラウザを起動して **10.10.10.1** へアクセスします。

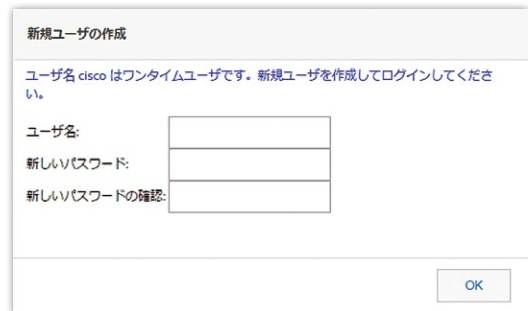


ログイン画面では、ユーザ名/パスワードを **cisco/cisco** と入力します。
※ cisco/cisco の設定は初回限り有効です。

新規ユーザの作成画面が表示されたら、新規ユーザ名とパスワードを入力します。

※ここで作成しないと、ルータの初期化が必要になります。

(ルータの初期化については、www.cisco.com/jp/go/c800m の「ドキュメント」タブに掲載している Cisco Configuration Professional Express リカバリ&初期化ガイドを参照してください)



ステップ
4

CCP Express 3.5.1 にログインします

再度、ユーザ名/パスワードの入力画面が表示されるので、新規作成したユーザ名とパスワードを入力します。これで CCP Express 3.5.1 へアクセスできるようになりました。



アクセス準備
完了!

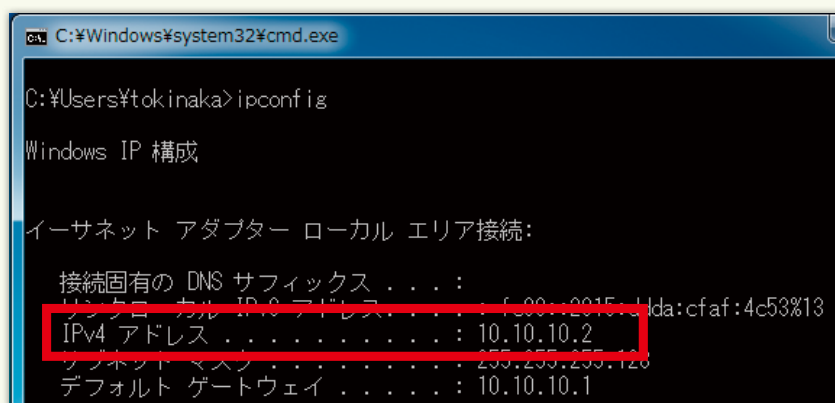
トラブルシューティング

GUI へアクセスできない場合は、こちらの手順をご確認ください。

Windows 7/8/10 編

1 PC がアドレス取得できているかを確認します

- ・「スタート」ボタンをクリックし、「プログラムとファイルの検索」ウィンドウに「cmd」と入力して Enter キーを押します。
- ・コマンド プロンプトが表示されたら「ipconfig」と入力して Enter キーを押します。
- ・IPv4 アドレスが **10.10.10.x** となっているか確認します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
C:\Users\tokinaka>ipconfig

Windows IP 構成

イーサネット アダプター ローカル エリア接続:

    接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
    ローカル IP アドレス . . . . . : f800:2015::1da:cfaf:4c53%13
    IPv4 アドレス . . . . . : 10.10.10.2
    サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.120
    デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 10.10.10.1
```

→なっていない場合は「2」へ進んでください。 →なっている場合は「3」へ進んでください。

2 PC が DHCP を取得可能な設定か確認します

- ・「スタート」ボタンをクリックし、「プログラムとファイルの検索」ウィンドウに「ネットワークと共有センター」と入力して Enter キーを押します。
- ・「アダプターの設定の変更」を選択します。
- ・「ローカル エリア接続」を右クリックして「プロパティ」を選択します。
- ・「インターネット プロトコル バージョン 4」を選択し、続いて「プロパティ」を選択します。
- ・「IP アドレスを自動的に取得する」が選択されているか確認します。
→自動取得になっていない場合、「自動取得」にします。

3 アドレスが正常に取得できている場合

- ・ご利用の Web ブラウザがサポートされているものか確認してください (p3を参照)。

動作上の不具合がある場合は、
下記リンクの「サポート」タブよりお問い合わせください。

<http://cisco.com/jp/go/c800m>

この段階で Cisco 841M J ルータの VLAN1 に出荷時設定されているアドレスの 10.10.10.1 を変更すると、CCP Express から設定を変更できなくなってしまいますのでご注意ください。

OS X 編

1 PC がアドレス取得できているか確認します

アップルメニューから「システム環境設定」を選択します。



「システム環境設定」パネルの「ネットワーク」を選択し、有線接続の項目を選択します。



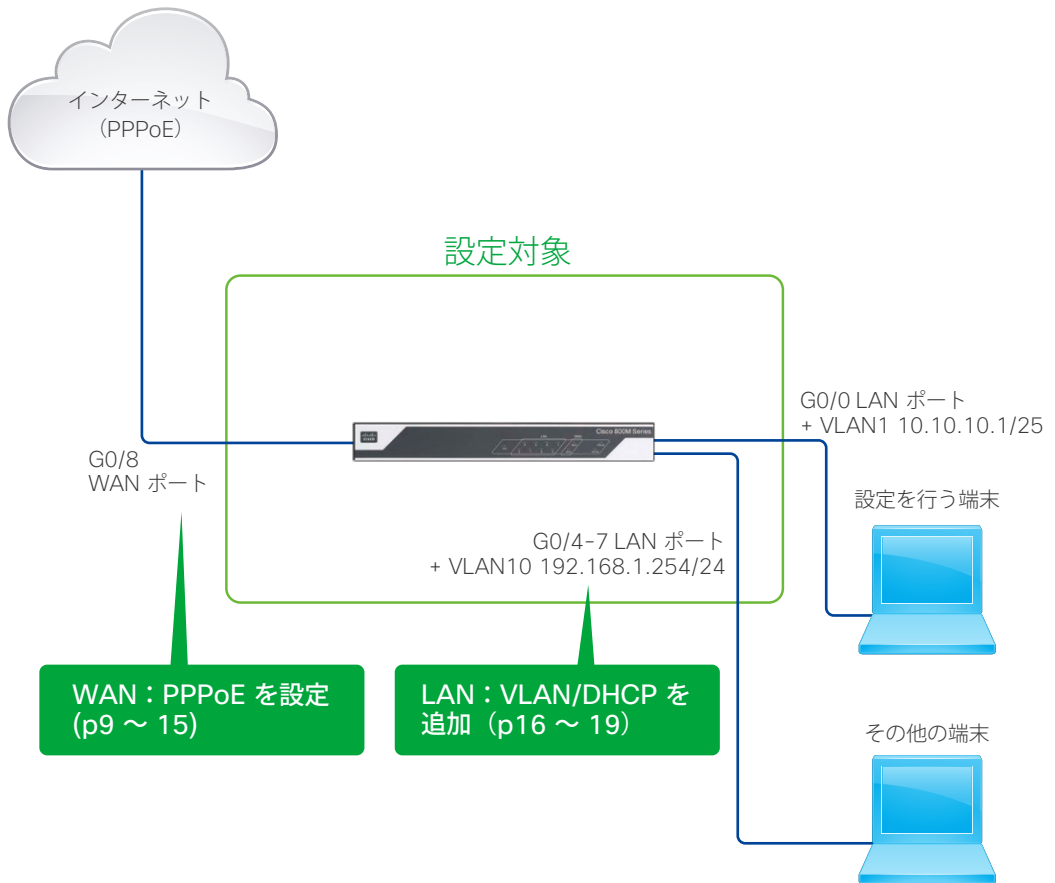
「IPv4 の設定」が「DHCP サーバを使用」となっていることと、IP アドレスが **10.10.10.x** となっていることを確認します。

アドレスが正常に取得できている場合は、ご利用の Web ブラウザがサポートされているものが確認してください (p3 を参照)。



WAN/LAN の設定

下図で示したサンプル構成で、工場出荷状態の Cisco C841M ルータを CCP Express 3.5.1 で設定する手順をご紹介します。



2 WANの設定

ステップ
1

クイック セットアップ ウィザードを始めます

CCP Express 3.5.1 のトップページから、「クイック セットアップ ウィザード」を選択します。



クイック セットアップ ウィザード画面の「始めましょう」をクリックします。

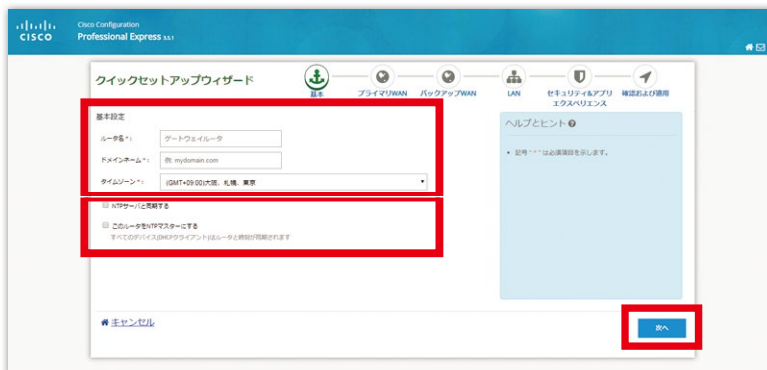


ステップ
2

機器情報を設定します

ルータ名/ドメイン ネーム/タイム ゾーンを設定して、「次へ」をクリックします。

※ドメイン ネームは必須項目です。指定のドメイン ネームがない場合は、example.com など架空のドメイン ネームを入力します。NTP サーバの指定や、ルータ自身を NTP サーバに設定することも可能です。



2 WAN の設定

ステップ
3

接続タイプを選択します

WAN 接続タイプは「イーサネット (直接 / PPPoE)」を選択し、続いて WAN インターフェイスを選択します。「次へ」をクリックします。

※ DHCP を利用する場合は「PPPoE を有効にする」のチェックを外し、p14 の手順を参照してください。



ステップ
4

詳細設定を行います

プロバイダから提供された情報に基づき、認証プロトコルのタイプ、PPPoE 認証情報、続いて「詳細設定の表示」をクリックして MTU と MSS のサイズを入力します。「次へ」をクリックします。



ステップ
5

バックアップ WAN の設定を確認します

バックアップ WAN がない場合は、こちらの設定は不要です。「次へ」をクリックします。



ステップ
6

DHCP の設定を確認します

デフォルトで設定されている DHCP の設定を確認できます。「次へ」をクリックします。
※このステップで LAN 側に新しい VLAN と DHCP プールを設定することも可能です (p15 を参照)。



ステップ
7

ファイアウォール機能の設定を確認します

CCP Express 3.5.1 ではデフォルトでファイアウォールや見える化 (Application Visibility and Control) の設定が有効になっています。確認したら「次へ」をクリックします。



各設定の内容

ファイアウォール機能 (ZBFW) の設定が入ります。デフォルトでは以下の通信以外を遮断します。

- http
- https
- smtp
- pop3
- imap
- sip
- ftp
- dns
- icmp

PPP用のパスワードなども暗号化されます。

ダッシュボードからトラフィックの見える化が可能になります。

セキュリティの設定

- ファイアウォール機能を有効にする

ルータは、セキュリティ機能を有することができます

- ✓ 基本的なトラフィックを許可するポリシーを作成する(推奨)

- シスコ推奨のセキュリティ設定を有効にする

- ✓ この機能を使用すると、すべてのパスワードは暗号化されて、プレーンテキストで表示されなくなります

Application Experience

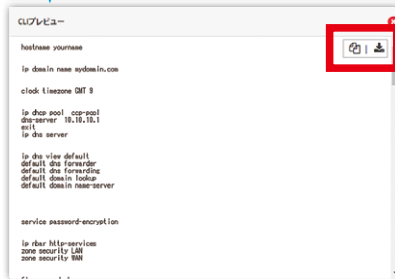
- Application Visibility and Controlを有効にする

2 WAN の設定

ステップ
8

一連の設定内容を確認します

クイック セットアップ ウィザードで設定した情報を確認できます。「送信」をクリックします。



投入する設定情報の確認、クリップボードへのコピーやローカル PC への保存が可能です。

ステップ
9

設定を適用します

設定を適用するか確認を促す「アラート」画面がポップアップ表示します。「はい」をクリックします。設定投入後に、設定完了の画面が表示されます。



ステップ
10

WAN 接続状態を確認します

リダイレクトされたダッシュボードから WAN インターフェイスの状態を確認できます。IP アドレスが取得できていれば設定は完了です。
これでインターネットへのアクセスを利用可能になりました。



WAN 設定
完了!

2 WAN の設定

DHCP の設定例

ブロードバンド回線で DHCP 方式を利用する場合の具体的な設定手順は次のようになります。

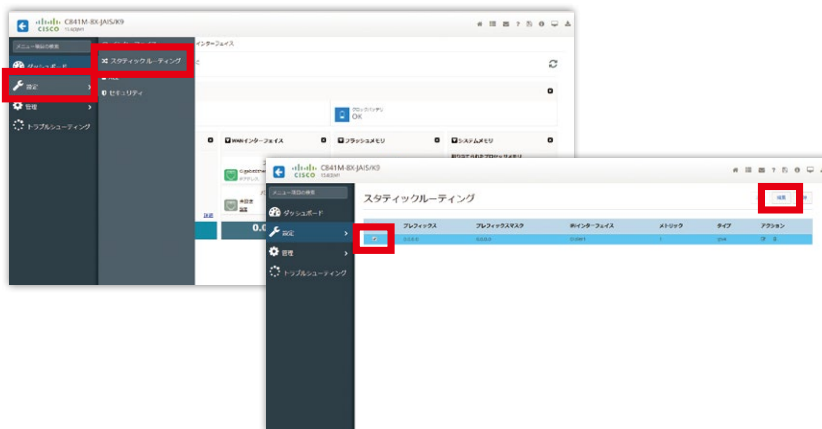
クイック セットアップ ウィザードの設定で「PPPoE を有効にする」のチェックを外してください。



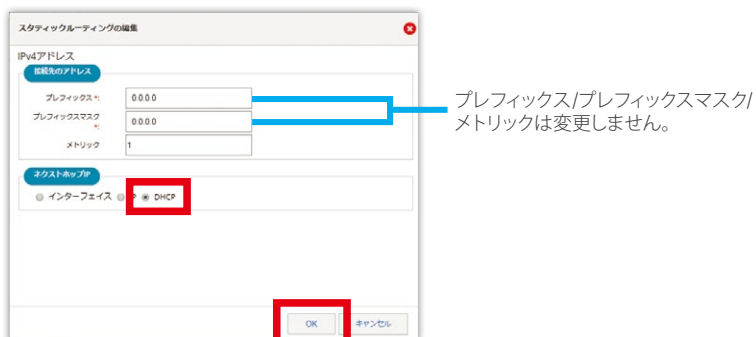
以下のように DHCP の設定を行ってください。

1 「スタティック ルーティング」をクリックします。

作成済みのスタティック ルーティングを選択し、「編集」をクリックします。



2 ネットホップ IP の項目を「DHCP」に変更して「OK」をクリックします。



新しい VLAN と DHCP プールを設定する

新しく VLAN と DHCP プール (例：従業員用 LAN) を設定するには、p11 のステップ 6 の画面で「新規 LAN ネットワークの追加」を選択し、「ネットワークの追加」で設定します。

今回の例では、Gig0/4-7 を VLAN10 (192.168.10.0/24) に設定します。

この設定を終了すると、従業員用 LAN (192.168.10.0/24) から CCP Express GUI にアクセス可能になります。

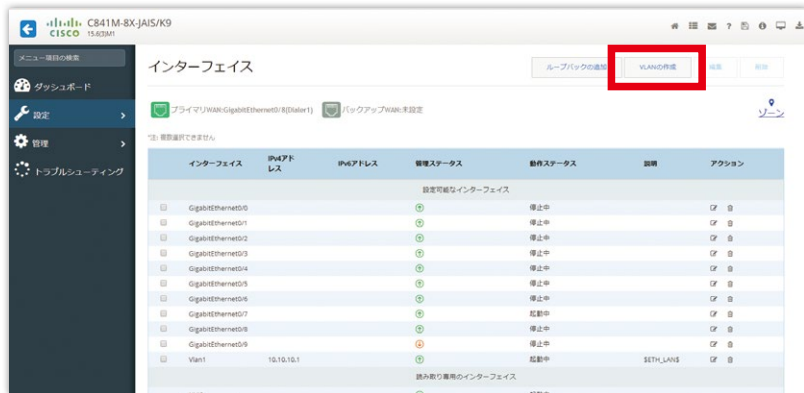
デフォルトで設定されている管理用 LAN のアドレスを変更する場合には、「LAN ネットワークの変更」を選択します。

ネットワークの変更時にルータへの接続が失われる可能性があります。セットアップウィザードの完了後、LAN インターフェイスの IP アドレスを使用して CCP Express にアクセスしてください。

ステップ
2

VLAN を追加します

「VLAN の作成」をクリックします。

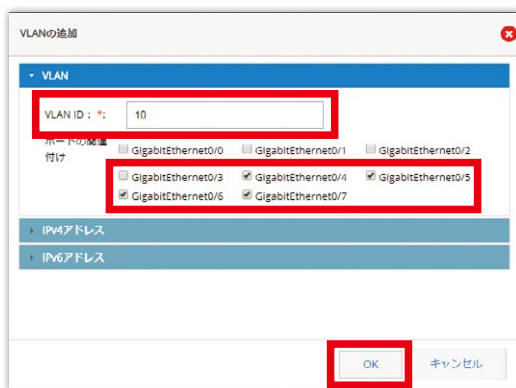


ステップ
3

ポートを設定します

リダイレクトされたダッシュボードから WAN インターフェイスの状態を確認できます。ここでは「VLAN10」を作成し、「Gig0/4-7」を VLAN10 のポートにします。

※ CCP Express との接続のため、管理 PC を接続しているポートは VLAN1 から変更しないようにします。管理 PC を接続しているポートは選択しないでください。



3 LAN の設定

ステップ
4

アドレスを設定します

VLAN10 の IPv4 アドレスについて、以下のように設定して「OK」をクリックします。

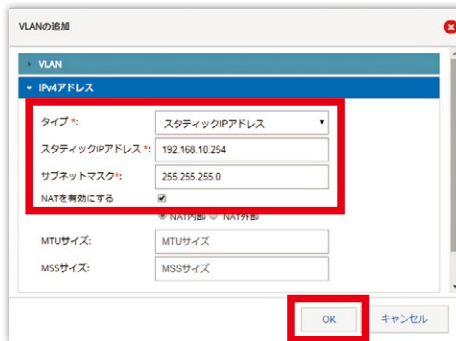
タイプ：スタティック IP アドレス

アドレス：192.168.10.254

サブネット マスク：255.255.255.0

※インターネット アクセスが必要な場合は「NAT を有効にする」のチェックボックスをチェックし、「NAT 内部」を選択します。

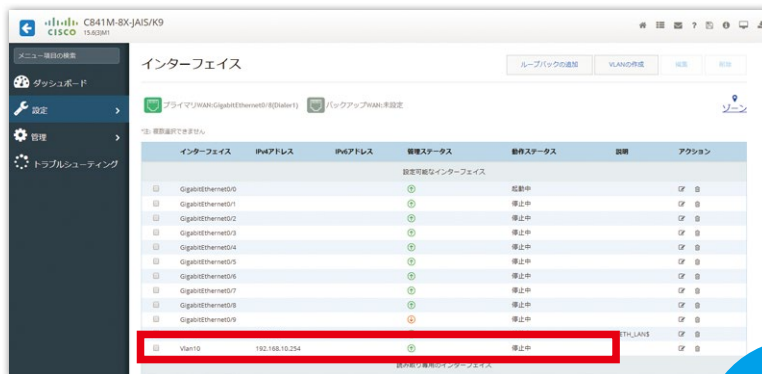
※ MTU サイズ、MSS サイズは必要な場合、設定してください。



ステップ
5

VLAN 設定を確認します

今回作成した VLAN10 が反映されていることを確認します。



VLAN 設定
完了!

ここまでの設定作業で、PC などの端末に固定 IP アドレスを設定して VLAN10 (192.168.10.0/24) を使用した通信を行う準備ができました。

VLAN10 に接続する端末に DHCP を用いて動的に IP アドレスを設定したい場合は、p.19 「DHCP の設定例 (オプション)」に進んでください。

DHCP の設定例 (オプション)

ここでは別の DHCP グループを作成する手順を例に紹介します。

※工場出荷状態では 10.10.10.0/25 のアドレスが VLAN1 で配布される DHCP の設定になっています。

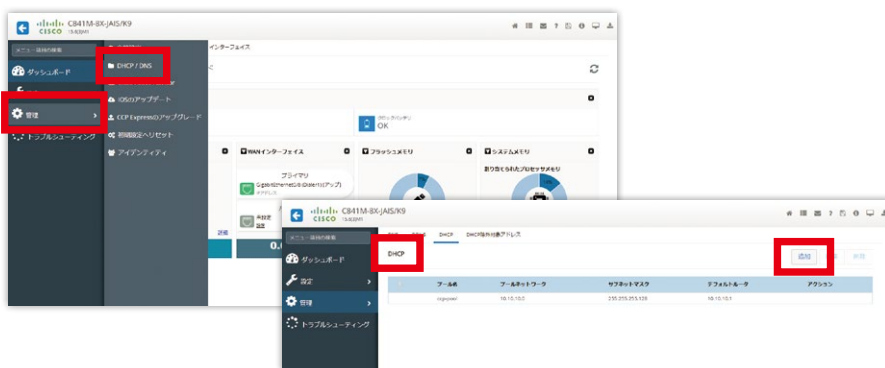
ステップ
1

DHCP 設定画面へアクセスします

「DHCP/DNS」をクリックします。「DHCP」を選択し「追加」をクリックします。

※CLI、もしくはクイック セットアップ ウィザードでの変更時のみ CCP Express 接続に使われる管理用 LAN の設定変更が可能です。

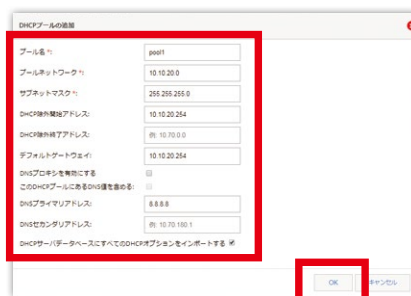
ここでは管理用 LAN になっている DHCP プールは編集/削除しないでください。



ステップ
2

DHCP プールを作成します

「DHCP プールの追加」画面で必要項目を入力し、「OK」をクリックします。



※ここで設定する DHCP アドレスからは CCP Express 3.5.1 の GUI へアクセスできません。

ステップ
3

DHCP 設定を確認します

「DHCP」欄に、作成した DHCP プールが作成されていることを確認してください。



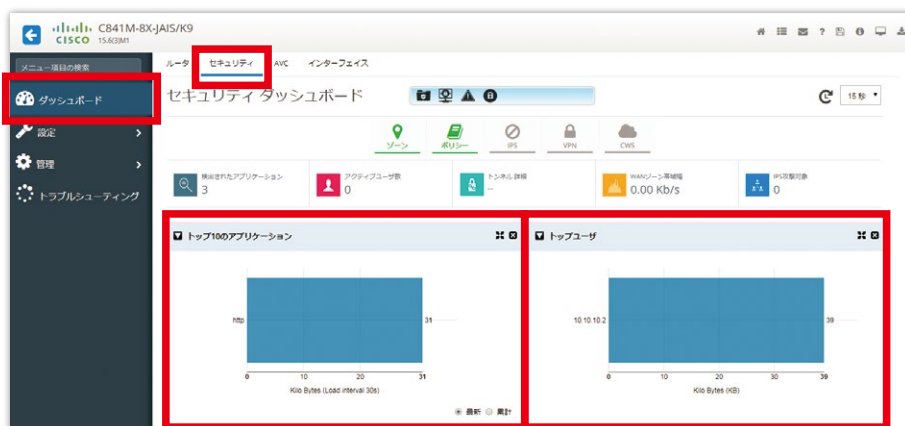
DHCP 設定
完了!

- CCP Express 3.5.1 を利用したポリシー制御の設定は ZBFW (ゾーン ベース ファイアウォール) を利用します。
- ゾーン設定に関しては、シスコ サポート コミュニティ (<https://supportforums.cisco.com/ja/start>) の「スタティック VPN 簡単設定ガイド」などを参照してください。
- アクセス リストを利用したアクセス制御を行うには、CLI (コマンド ライン) による設定が必要です。

ダッシュボード解説

1 トラフィックの見える化

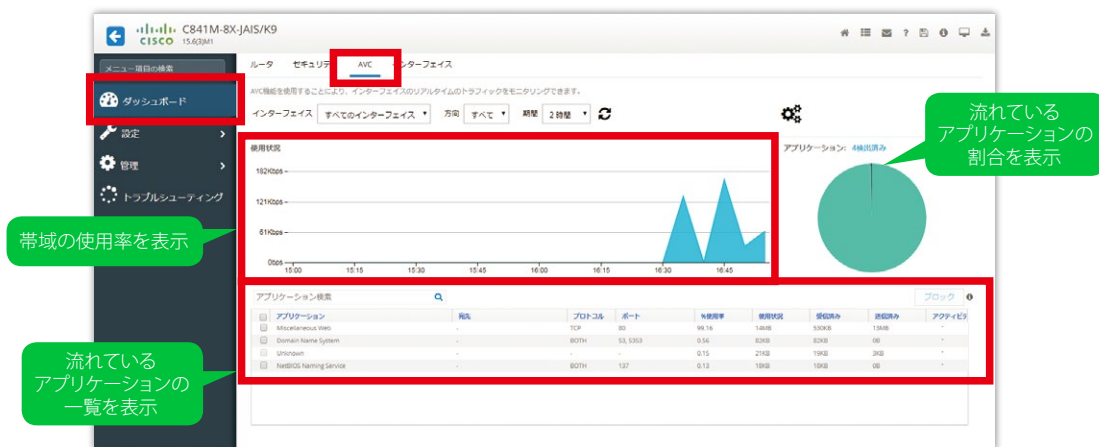
「ダッシュボード」の「セキュリティ」タブから、トップ 10 のアプリケーションとユーザの情報が確認できます。



- ・最新：直近 30 秒の状況
- ・累計：設定後からの累計

※セキュリティの項目を表示させるには、クイック セットアップ ウィザードでファイアウォールと AVC を有効にする必要があります。

「AVC」タブでは、トラフィックのより詳細な情報が確認できます。

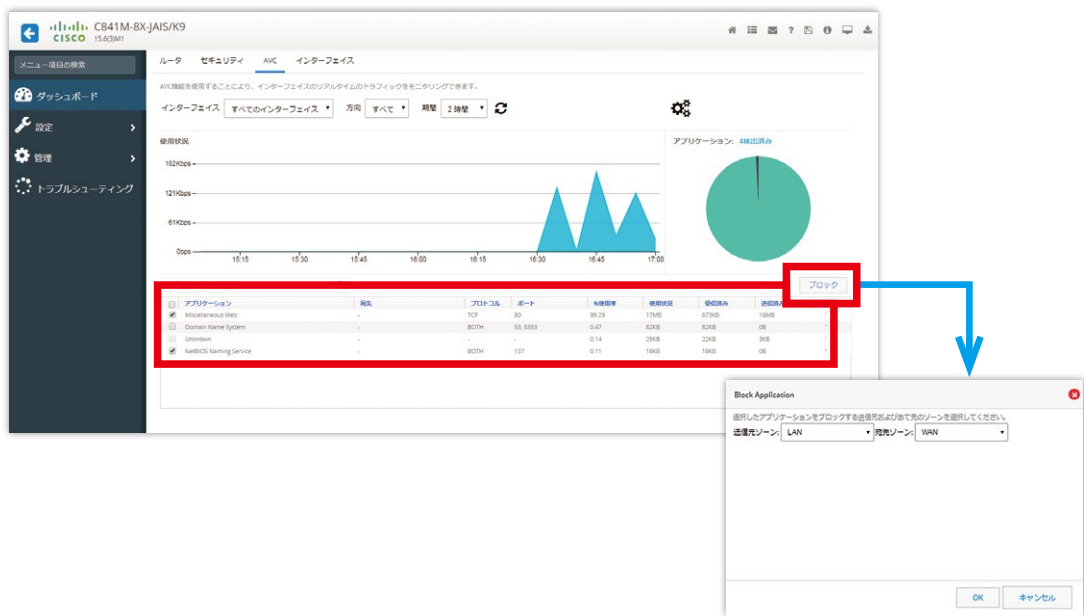


※ AVC の項目を表示させるには、クイック セットアップ ウィザードで AVC を有効にする必要があります。
p.11 のステップ 7 で「Application Visibility and Control を有効にする」にチェックを入れてください。
クイックセットアップウィザード終了後に AVC を有効にするには、「AVC」タブに移動してから「Enable AVC」にチェックを入れることで可能です。

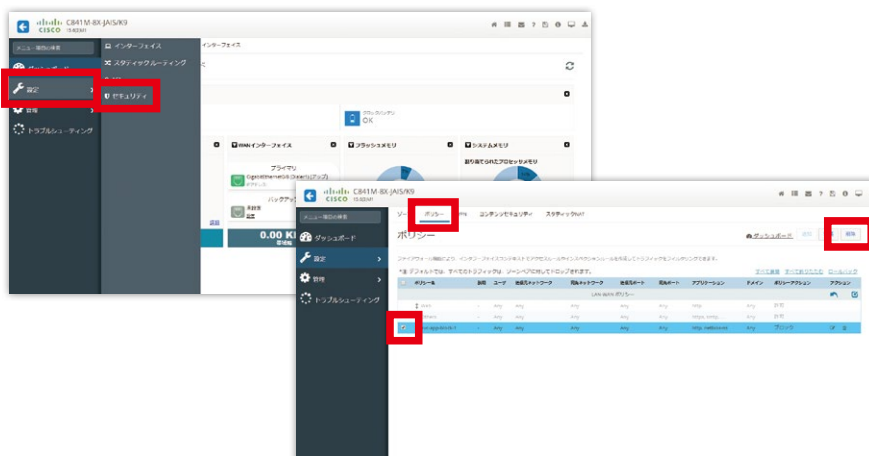
2 アプリケーション ファイアウォールの設定

「ダッシュボード」の「AVC」タブでアプリケーションの一覧を表示し、ブロックするアプリケーションを選択してから「ブロック」をクリックします。

表示されるダイアログで送信元と宛先ゾーンを選択すると、選択したアプリケーションのトラフィックがブロックされます。



アプリケーションのブロックを解除するには、「セキュリティ」の「ポリシー」タブを表示してから、「avc-app-block-1」ポリシーを選択、削除します。



システム管理機能

1 実行中の設定 (running-config) のダウンロード

実行中の設定 (running-config) のダウンロードは、
画面右上の  アイコンをクリックします。

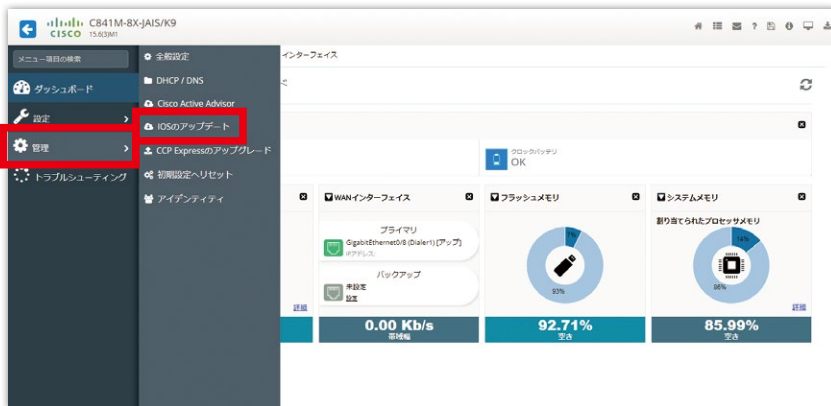


2 Cisco IOS のアップデート

ステップ
1

Cisco IOS のアップデート画面にアクセスします

Cisco IOS のアップデートを開始するには、「IOS のアップデート」をクリックします。



ステップ
2

ルータのフラッシュにアップロードするイメージ ファイルを選択します

(すでにアップデートしたいイメージ ファイルがルータのフラッシュに存在する場合は、ステップ 5 へ進んでください。)

選択元を「デスクトップ」に指定します。「IOS イメージ ファイルを選択」をクリックして、アップデートしたいイメージ ファイルを選択します。



こちらのリンクからも Cisco IOS イメージ ファイルをダウンロードできます。
(Cisco Smart Net Total Care などダウンロード権限付きのサービス契約、インターネット アクセス環境が必要です)

2 Cisco IOS のアップデート

ステップ
3

選択したイメージ ファイルをルータのフラッシュにアップロードします

「(選択したイメージファイル名) が選択されました。」という表示が確認できたら、「IOS ファイルをアップロード」をクリックします。



ステップ
4

Cisco IOS イメージ ファイルがアップロードされたことを確認します

画面が切り替わり、「アップロードが完了しました。」と表示されると Cisco IOS イメージ ファイルのアップロードは完了です。



ステップ
5

Cisco IOS イメージ ファイルを選択してアップデートを開始します

選択元を「ルータ (flash:)」に指定します。Cisco CCP Express はルータのフラッシュに保存された Cisco IOS イメージ ファイルを自動検出します。リストからアップデートしたいイメージ ファイルを選択して「IOS をアップデート」をクリックします。

※ Cisco IOS をアップデートする際に、ルータはリロードを開始します。

IOSのアップデート

選択: ルータ(flash:) デスクトップ
ルータに使用するIOSイメージを選択

File Name	Disk	Actions
c800m-universalk9-mz.SPA.156-3.M1.bin	sdf:flash:	🗑️
c9000-universalk9-mz.SPA.157-3.M1.bin	flash:	🗑️

アクション

👆 一番上に移動 🗑️ リストをクリア

👉 IOSをアップデート

アラート

選択したIOSを本当に更新しますか?

はい いいえ

一番上に移動: 指定した Cisco IOS イメージ ファイルをデバイス起動優先順位リストの一番上に登録します。
リストをクリア: 既存のデバイス起動優先順位リストをクリアし、指定した Cisco IOS イメージ ファイルのみを登録します。

ステップ
6

ルータのリロード終了を確認します

画面が切り替わるので、「デバイスがリロードされました。」と表示されると IOS のアップデートは完了です。

IOSのアップデート

選択されたIOSファイルをブートイメージとして設定しています

IOSのアップデート

ルータをリロードしています..

IOSのアップデート

デバイスがリロードされました。

Cisco IOS アップデート 完了!

シスコ サポート コミュニティ

シスコ サポート コミュニティは、Cisco Start ルータをはじめ、シスコ製品のユーザ同士が情報を交換するためのコミュニティ サイトです。製品の使い方、設定方法に関するQ&A、役に立つドキュメントなどが掲載されています。どうぞご活用ください。

→ <https://supportforums.cisco.com/ja/start>

よく利用されるドキュメント

C841M リカバリ&初期化ガイド

<https://supportforums.cisco.com/ja/document/12603681>

Cisco Start 製品のソフトウェア ダウンロード方法

<https://supportforums.cisco.com/ja/start/how-to-download>

上記のほか、CCP Express 3.5.1 に対応した設定ガイドも順次掲載予定です。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

お問い合わせ方法

電話または E メールにてお問い合わせください。

製品ご購入後の Cisco Start テクニカル サポート総合受付窓口

Web <https://supportforums.cisco.com/ja/start/help>

電話 **0120-092-255**

「ご希望の番号を選択してください」という自動音声ガイダンスの後、
電話機のプッシュ番号 3 番（製品 / サービスご購入後の技術的なサポートについてのお問い合わせ） を押します。
続いて 7 番（シスコスタート） を押してください。
最後に 1 番（ルータ） を選択してください。

Eメール **start-jp@cisco.com**

受付時間：平日 午前 9 時～午後 5 時（土日祝日は休み）

※時間外のお問い合わせは翌営業日の受付となります。

ご返答までの目安：受付後、翌営業日までに担当エンジニアよりご連絡いたします。

※5 営業日を目安に復旧策/回避策をご提供いたします。

お問い合わせに必要な情報

お問い合わせの際には、以下の情報をご用意ください。

E メールでお問い合わせの際には、こちらのテキストと必要事項を記入して送信してください。

<ご担当者情報>

- ・ご担当者のお名前（漢字/ふりがな）：
- ・Cisco.com ID：
- ・会社名（漢字/ふりがな）：
- ・住所（漢字/ふりがな）：
- ・電話番号：
- ・FAX 番号：
- ・E メール アドレス：

<製品情報>

- ・シリアル番号：
- ・問題の内容：
- ・製品設置先住所（漢字/ふりがな）：
- ・サービス契約番号（お持ちの場合のみ）：

製品の交換について

・代替品配送までの時間：

担当エンジニアがハードウェアの交換を必要と判断した日の翌営業日に届くよう発送いたします。

・製品の返却方法：

製品配送の際に、障害パーツ / 製品の返却手順の案内書を同梱しております。

案内書をご確認いただき、障害品のご返却をお願いいたします。

●補足事項

- 1 代替品は関東地区のセンター デポより配送されます。交通事情や地域によっては、翌々営業日以降の到着となる場合があります。
- 2 ご提供いただいた情報に不備がある場合、代替品の到着が翌営業日以降になる場合があります。
- 3 障害品は代替品到着後 10 日以内にシスコにご返却ください。10 日を過ぎた場合、該当製品の定価の請求書がお客様に発行されます。
- 4 機器の修理は行っておりません。交換のみの対応となります。
- 5 初期不良に関しては、購入元の販売店へお問い合わせください。
- 6 本サポートのサービス レベルは Smart Foundation となります。
詳しくはこちらの文書をご参照ください。
「ひとめでわかる Smart Foundation」<http://cs.co/90068nUhq>

Smart Net Total Care サービス契約をご購入されたお客様は、テクニカル アシスタント センター（TAC）

電話：0120-608-802 E メール：japan-tac@cisco.com にお問い合わせください。

©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2018 年 7 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先